

校長室だより
NO. 34
令和元年11月11日

すべては光る

梅園小学校長
たか すりょうへい
高 須 亮 平

充実の5年山の学習「心ひとつに新たなる挑戦 ～信じて進め Let's 5～」

11月5日(火)から7日(木)までの2泊3日、5年生が市少年自然の家で山の学習を行いました。朝夕の寒さを感じる頃で体調が心配されましたが、3日ともに晴天に恵まれ、全日程を計画通り実施できました。5年生の子どもにとって、自然の中で家庭や学校ではできない多くのことを体験できた有意義な3日間となりました。私も全日程を子どもたちとともに過ごすことで、5年生の子どもたちの素直さ、友達思いなところをはじめとした多くのよさを感じることができました。これは、5年の教師集団[1組・本郷先生、2組・野村先生、3組・川口先生、4組・土屋先生(主任)、6組・大塚先生、養護・川端先生]が、この山の学習での子どもたちの成長を願い、綿密な計画と共通理解を持った指導をしてきたからとも言えます。そして、子どもたちがそれに応えるようにがんばったのです。



自分たちで炉を作り準備した炊飯活動

まず、子どもたちが行った市少年自然の家での山の学習の活動の内容についてお知らせします。

【1日目】

- 入所式 ○ テント・炊飯オリエンテーション
- 炊飯活動(ごはん・カレーづくり)・夕食
- タベのつどい ○ ナイトハイク
- 班長会・就寝(テント)



カレーライスを上手に作った夕食

【2日目】

- 起床・洗面等 ○ 朝のつどい
- 朝食づくり(ホットドック)・朝食
- 物品返納・テントサイトの片付け
- 奉仕作業(毛布・ざら板運び)
- ロッジオリエンテーション ○ 昼食
- 野外レク(落ち葉スキー・フィールドアスレチック)
- タベのつどい ○ 夕食 ○ キャンプファイヤー
- 入浴 ○ 班長会・就寝(ロッジ)



物品の後片付け

【3日目】

- 起床・洗面等 ○ 朝のつどい、朝食 ○ 荷物整理、シーツ返却、掃除
- オリエンテーリング ○ 昼食 ○ 退所式

次に、子どもたちの成長の姿です。初日の「炊飯活動」では、8名前後の班で米を飯ごうで炊いてカレーライスを作りました。各班が石で炉を作り、なたで木を細かく

割る係、食材を切る係など、分担された係を着実に行っていました。一人一人が班の中で自分のできることで役立とうとする気持ちが伝わってきて、班の中でなくてはならない存在となって活動できていました。子どもたちがカレーライスを食べる姿は笑顔いっぱい、係分担を責任を持って協力してやり遂げた満足感があふれていました。活動の中で使用した物品の「片付け・返納」でも、各班が責任を持って力を合わせて物品の汚れを取る姿が見られました。これは、家庭では経験のないことで、ともするといい加減になりがちなことですが、きちんとやる姿が立派でした。

また、「キャンプファイヤー」でも素晴らしい姿が見られました。スタンプや火舞いを成功させようと学年・学級がテーマのように1つになろうとする意気込みを感じました。そして、初めと終わりの儀式的部分、途中のスタンプの部分のけじめをきちんとした態度で楽しむことができました。その中では、友達の新たな一面を見つける機会となったことでしょう。それを支えたのはエールマスター（進行役）を務めた川口先生の配慮であり、また、各学級のスタンプを子どもたちが自信を持ってできるようになるまで丁寧に指導した学級担任の見えない努力だったと思います。その後の火舞いでは息の合った美しい演技を見せてくれました。それには全員で拍手を送り、火舞いの子たちのこれまでの練習の成果を認める場となりました。最後に、代表の子が誓った「協力」「考動」「感謝」「成長」「挑戦」は、これからの生活に役立てていくことでしょう。

反面、課題も見えてきました。集団ではきちんとできることが個人となるといい加減になることがあるということです。また、個人的な弱さも見かけることができました。これは、逆に山の学習の活動の収穫かもしれません。

最後に、この山の学習を通して、5年生は着々と6年生への階段が上がっています。10月の学芸会、11月の山の学習と、子どもたちは大きく成長してきています。まさに「登竜門」を全員で克服しています。「龍門という急流の河をたくましく登った鯉は龍になる」が如く、5年生一人一人が困難に打ち克ち、素晴らしい6年生になってほしいものです。次が、山の学習をリードした実行委員です。

- 〔実行委員〕(1組)
- (2組)
- (3組)
- (4組)



スリル満点の落ち葉スキー



キャンプファイヤーの楽しいスタンプ



息の合った美しい火舞い



協力・考動・感謝・成長・挑戦の火